

## 遺伝性腫瘍の診断と臨床病理学的特性、治療の効果・安全性等に関する研究

### 研究対象：

国立がん研究センター中央病院遺伝子診療部門において、国立がん研究センター中央病院開院以降から2029年3月31日までに、遺伝性腫瘍の診断、手術、化学療法、放射線療法、緩和ケアなどを実施された方を対象とします。

### 研究の目的・方法：

遺伝性乳がん卵巣がん症候群(Hereditary Breast and Ovarian Cancer; HBOC) やリンチ症候群(Lynch Syndrome) に代表される遺伝性腫瘍に対する治療法は依然として改善の余地があります。本研究は、国立がん研究センター中央病院遺伝子診療部門を受診した患者の診療データを用いて、遺伝学的診断の有用性、臨床病理学的な特性と遺伝性腫瘍に対する治療の効果・安全性に関して適切な解析を実施することを目的とします。本研究で得られた結果を新たな治療法を検討する資料とすることに意義があります。

本研究は、国立がん研究センター中央病院の診療録・データベースの情報を収集し、解析することで実施されます。

### 研究に用いる情報の種類：

診療情報(性別、年齢、身長、体重、疾患名、病歴、生活歴、診療録、血液検査データ、画像所見、遺伝学的検査結果) 等

### 問い合わせ先：

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

**照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：**

研究責任者：吉田輝彦（遺伝子診療部門長）

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センター中央病院遺伝子診療部門

電話：03-3542-2511 / FAX：03-3541-2685

研究事務局：田辺記子（認定遺伝カウンセラー）

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センター中央病院遺伝子診療部門

電話：03-3542-2511 / FAX：03-3541-2685